

## [4] 研究開発プロジェクト

### [4]ー1 デジタル教材活用制度プロジェクト

学術・専門書等の著作物について、高等教育における授業の教材として合理的に利活用可能なライセンスモデル構築を目指し、学術出版社など協力のもと3大学研究者による共同研究を行う。

#### ■プロジェクトメンバー

- [大 学] ① 吉見俊哉 教授, 柳与志夫 特任教授 (東京大学 情報学環)  
② 山里敬也 教授 (名古屋大学 教養教育院)  
③ 加藤和彦 教授 (筑波大学 大学執行役員)

[出版社](予定) 東大出版会, 有斐閣, 勁草書房 ほか

[その他](予定) 丸善雄松堂(デジタル書籍提供), 法曹関係者

[オブザーバ] 版元各社より個人参加

#### ■活動内容

◎学術・専門書のデジタルデータを教材として多様なかたちで再利用, 教育学習における効果検証等のパイロットスタディ(PS)を行う。

- (1) デジタル書籍の探索・参照など運用システムのユーザビリティ検証
- (2) デジタル書籍の部分利用点数, 頻度など量的調査
- (3) デジタル書籍の利活用による教育・学習効果測定
- (4) (2), (3)を踏まえた包括ライセンス体系の策定 など

#### ■PS推進計画

- ・2019年度内 : 協力教員／対象デジタル書籍確定, PS環境準備 など
- ・2020年度～ : 被験者拡大, ライセンス料金体系策定(無償ライセンス⇒有償ライセンス) など